

インディアカ

平成14年12月吉日 発行

# さいたま

NO. 12

発行人 埼玉県インディアカ協会会長 秋谷昭治  
発行 SIA広報部 加藤美枝子(秩父市)  
伊藤達郎(川越市) 大野倉次(戸田市)  
清水栄一(松伏町) 玉生一美(吉川市)

## 第56回全国レクリエーション大会 INさいたま 第25回インディアカ大会

### 交流宣言

「私達インディアカ仲間は、ここ埼玉の地で多数の参加を得て、日頃の練習成果を発揮できることを大変うれしく思います。そして、この記念すべき1日が心の1ページとなるよう鍛え抜いた体と、もって生まれた美貌、そしてこのか細い体で、1日楽しくプレーすることをここに宣言いたします。」



“さいたま市 MAX”の力強い交流宣言を合図に、埼玉県大宮体育館アリーナにおいて11月10日、全国から集ったインディアカ愛好者により熱戦が繰り上げられました。宣言者のパフォーマンスや雰囲気などをお伝えできないのが残念です。大爆笑のバカウケ。

### 祝 辞

第56回レクリエーション大会・全国インディアカ交流大会が、インディアカが最も普及している埼玉県で開催されますことは、インディアカの将来にとっても意義深いことでもあります。

インディアカクラブ数、公認審判員数、個人会員数など、どれをとっても全国のナンバーワンであり、常に日本のインディアカ界の中心的存在であります。本大会は最も伝統のある全国大会でありまして、記念すべき第25回大会ということになります。

この節目の大会を皆さんとともに大いに楽しもうではありませんか。

社団法人日本インディアカ協会

会長 川村 皓章

### 歓迎の挨拶

「レクの花 見事咲かそう 彩やかな未来へ」をスローガンに全国各地よりインディアカを愛好する皆さんをお迎えし、本大会が2年後に政令都市を目指しているさいたま市において盛大に開催されますことを心より歓迎申し上げます。今大会を実施するに当たり、組織一丸となって準備を進めて参りましたが、全国からおいでいただきました皆様方に「楽しかった 来て良かった」と言っていただけをお願い、お互いのすばらしい競技技術、マナーを見習い、今後インディアカを続けていく中で、記憶に残る1日であることを希望します。

埼玉県インディアカ協会

会長 秋谷 昭治

### 優勝

「女子」 かるがも、ライクライム、びたみんT、大井レッツ、

ザ・イーズ、Harmony、びたみん（以上「埼玉県」）

「混合」 山の下本醸造（新潟県）、I・I・C、ZERO（以上「埼玉県」）

「シニア混合」 疾風（栃木県）、ザ・イーズ（埼玉県）

富士嶺も鮮やかに浮かび上がる秋冷の候、さいたま市においてインディアカの熱戦が展開された。朝4時に出発した新潟県のチームは、途中雪に見舞われたが、9時に到着したという。会場までの道程は遠かったが「とっても楽しかった」と笑顔で話してくれた。

「前回の地元大会は散々だったので、敵討ちのつもりで張り切ってます」とは群馬県のチーム。広島県チームは「大変楽しませてもらいました。来年お待ちしております」。

そのほか会場内で、忌憚のない意見を聞いてみた。「1セットで対戦相手が変わる試合は初めて。多くのチームと試合ができてとても良かった」「時間が空きすぎて、緊張感の持続できなかった」「負けたのが悔しい」「私は一人で楽しんだ感じ」「折角遠くから来たのだから、もっと試合をしたかった」「機会があればこのような大会にまた参加してみたい」「大会運営の全てが素晴らしい、BGMの構成などが特に良かった」etc

「専任審判がテキパキとしていて大変良かった」という素敵な女性からの言葉を、審判員の諸君に補足しておこう。

「全国各地から多くの方に参加していただきたい」次回開催の広島県インディアカ協会の方からご挨拶を頂いた。

**中央大会；今年度からシニア部門が充実 幅広い年齢層の戦いが展開**

例年どおり平成14年11月23日、桶川市において中央大会が開催されました。サンアリーナの16面を使用し、各ブロックの予選を勝ち抜いた110チームにより熱戦が繰り広げられました。見応えのある好プレーの連続。今期一番の冷え込みの会場も選手の熱気でムンムン。汗を拭いてのプレーが続きました。栄冠を手にしたチームを紹介します。



明るく楽しくチームワークで優勝できました。来年も優勝目指して頑張ります。

**女子；秩父クラブMINT（秩父市）**



5回目の優勝です。とてもうれしいです。去年の悔しさをバネに今年は最高の笑顔です。

**男子；グリーン・ジャイアント（三郷市）**



去年より楽しく2連覇できました。皆さんの応援で優勝できました。来年もよろしくお願いします。

**混合；プラスワンA（所沢市）**



初代チャンピオン。ヤッタネ！次は連覇の夢をいつまでも。

**シニア男子；THE FUSION（岩槻市）**



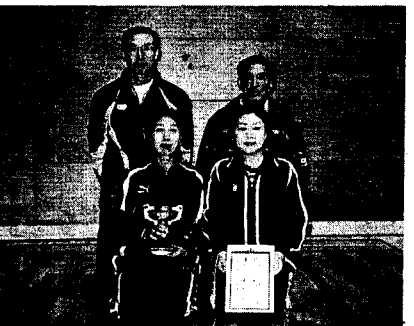
新しいメンバーで優勝できました。最高にうれしいです。うれし涙で光っていますか。

**シニア女子ミドル；秩父クラブめ組（秩父市）**



初挑戦で優勝です。うれしーい！年齢でも勝てる？でもうれしい

**シニア女子オールド；桶川ひまわり（桶川市）**



負けても良いから攻めの気持ちで2連覇です。今日のビールは最高に美味しい

**シニア混合ミドル；ザ・イーズ（岩槻市）**



平成9年以來の優勝。メンバーはその時のまんま。これからは村の渡しの船頭さんのように元気に楽しみたい

**シニア混合オールド；スリーエスクラブ（白岡市）**

## 全国スポーツレクリエーション大会 IN 広島に参加して

10月5日から3日間、埼玉県代表としてインディアカチーム飛翔会（所沢市）と共に参加。「埼玉の代表として頑張ってください」と出発前の固い決意。開会式後のアトラクションも素晴らしく、女子高生によるマーチングバンド演奏と演技に感動した。廿日市市の運営役員全体の素晴らしいまとまり、受付時点からの暖かい出迎え、一糸乱れず毅然とした開会式。選手の入退場時には手拍子での送り迎え、会場全体が一つになっていた。

インディアカの試合は2日間にわたって行われ、飛翔会は見事コート優勝。

色々な県のチームとの交流や、地元の人達とも楽しく過ごすことができた。この大会に参加させて頂き、感謝、感激……。

有り難うございました。（同行記；要旨）



### インディアカ雑感

（広報部編集委員）

いろいろなインディアカ大会に参加して感ずることがある。インディアカ愛好者の技量が向上していることは勿論のことであるが、大会運営に対する理解力が高まっているということ。説明・注意事項の多くを語らなくとも、大方の競技の流れを理解し、運営要領に従って円滑に行動できる。これは、埼玉県内のインディアカが、ほぼ成熟期に達してきているという証でもあろう。

大会のセレモニーでは、選手宣誓がおもしろい。一言の工夫で、会場が沸き返る。一面に紹介した全国レク大会の“大会宣言”は逆転のおもしろさと言える。

「宣誓、明日の仕事に差し支えないよう、精一杯、インディアカを楽しむことを誓います。」とある大会での文言。“勝利の美酒”は大きな楽しみの一つではあるが、生活を犠牲にしてまでもインディアカにのめり込む必要はないと伝わってくる。

最近、「スポーツ突然死」の悲報が伝わってくる。我々とは無関係と思っているが、インディアカがレクリエーション・スポーツである以上、思わぬ事態も起こりうる。普段から寝不足や飲み過ぎに注意すること、体調が良くても無理せず、自覚症状を感じたら運動は控えた方が良く、等が予防策だという。二日酔いで参加など我々も身に覚えがある。突然死とまではいかないが、インディアカのプレー中の怪我が増えているという。無理は禁物。分かっているが夢中になってしまう。家事や仕事を離れ、夢中になれるのがインディアカの魅力かもしれない。長くインディアカを楽しむために、素晴らしい仲間と自分を大切にしたい。 “健康と素敵な仲間に乾杯”

我が市民大会に中学生チームが参加した。技量はともかく、マナーは最高。素直で爽やか、初々しい。我々も最初は同様であったと思う。 “初心忘れるべからず”